

特別支援学級備品の検収について

「特別支援学級の備品が、事務職員の全く関知しない状態の中で、いつの間にか学校に納品されていた」・・・このことは、これまでの交流の中でもたびたび指摘をされており、怒りをもって語られる方もいらっしゃったほどです。

実は、この度事務局校でも同じことが起きました。(もっとも前任校ではしょうがい児教室の担任とはその辺の連携はうまくいっていたので、単に現在校で私のアプローチが不十分であっただけの話ではあります。)

いずれにしても、このままでは台帳記載に支障が出ると思い、支援センターの担当者に事情を話したところ、教材備品について学校教育課から出されているような一覧表を該当校に送っていただく方向で検討していただけることとなりました。

ついでにお話すれば、特別支援学級の備品は、石教振の部会で集約された各学校の備品要望が、優先順位と学校輪番順の要素で決定され学校に納品される仕組みです。したがって、これまで指摘されているように、事務職員や職員会議をスルーされていることがほとんどではないかと思えます。このようなことも、学校財政活動の中に取り込んですすめることが必要ですね。この点が、今年随分時間をかけて行った備品購入のとりくみに関する論議から抜けていました。